

《履修上の留意事項》【遠隔授業のみ実施】

剽窃や改竄などの不正は極めて低劣で唾棄すべき行為であり、いかなる事情があろうとも容認されることはない。そのような不正が発覚した場合、あるいは強く疑われる場合には、以降、その学生からの提出物は評価の対象から除外することとする。

《担当者名》 齊藤 恵一 百々 尚美 真島 理恵 福田 実奈

【概 要】

心理学で用いられる基礎的な研究法を体験的に学ぶ。現象を量的にとらえる最初のステップの観察法、基礎領域の認知、感覚、学習、生理、集団を対象とする社会心理学で用いられる実験法が行われる。

具体的な実施形態についてはガイダンス時に示されるので、以降はその指示にしたがって受講すること。

【学習目標】

実験の計画を立てることができること。

実験データの収集及び処理を適切に行うことができること。

実験の結果について適切な解釈ができ、報告書を作成することができること。

対象を独立変数（環境変数）-（心・身体）- 依存変数の関係で理解すること。

初歩的な科学的レポートのまとめ方を学習すること。

心理学的な研究を行う際の倫理的問題等について理解すること。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1～3	ガイダンス	授業の進め方。 実験レポートについて。	齊藤 恵一
4～6	行動観察1	実験の実施、データの分析・結果の呈示とその考察、 レポート作成と提出、不備のあるレポートの修正。	百々 尚美
7～9	行動観察2	実験の実施、データの分析・結果の呈示とその考察、 レポート作成と提出、不備のあるレポートの修正。	百々 尚美
10～12	ミューラーリヤー錯視図形1	実験の実施、データの分析・結果の呈示とその考察、 レポート作成と提出、不備のあるレポートの修正。	百々 尚美
13～15	ミューラーリヤー錯視図形2	実験の実施、データの分析・結果の呈示とその考察、 レポート作成と提出、不備のあるレポートの修正。	百々 尚美
16～18	視覚探索1	実験の実施、データの分析・結果の呈示とその考察、 レポート作成と提出、不備のあるレポートの修正。	福田 実奈
19～21	視覚探索2	実験の実施、データの分析・結果の呈示とその考察、 レポート作成と提出、不備のあるレポートの修正。	福田 実奈
22～24	条件づけ1	実験の実施、データの分析・結果の呈示とその考察、 レポート作成と提出、不備のあるレポートの修正。	福田 実奈
25～27	条件づけ2	実験の実施、データの分析・結果の呈示とその考察、 レポート作成と提出、不備のあるレポートの修正。	福田 実奈
28～30	囚人のジレンマ1	実験の実施、データの分析・結果の呈示とその考察、 レポート作成と提出、不備のあるレポートの修正。	真島 理恵
31～33	囚人のジレンマ2	実験の実施、データの分析・結果の呈示とその考察、 レポート作成と提出、不備のあるレポートの修正。	真島 理恵
34～36	囚人のジレンマ3	実験の実施、データの分析・結果の呈示とその考察、 レポート作成と提出、不備のあるレポートの修正。	真島 理恵
37～39	意味記憶1	実験の実施、データの分析・結果の呈示とその考察、 レポート作成と提出、不備のあるレポートの修正。	齊藤 恵一
40～42	意味記憶2	実験の実施、データの分析・結果の呈示とその考察、 レポート作成と提出、不備のあるレポートの修正。	齊藤 恵一
43～45	心的回転	実験の実施、データの分析・結果の呈示とその考察、	齊藤 恵一

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
		レポート作成と提出、不備のあるレポートの修正。	

【評価方法】

受講態度やレポート内容で総合的に判定する。

体験的な学習であるから、毎回出席し、かつ指定された期日までにレポートを提出することが成績評価の最低基準である。

【備 考】

教科書 : 使用しない。

参考書 : 日本心理学会編 執筆・投稿の手引き 2015年改訂版
<https://psych.or.jp/manual/>

American Psychological Association, Publication Manual of the American Psychological Association, 7 th Edition.

その他、適宜指示する。

その他 : ・本授業は実技であるから、理由無く欠席した場合やレポートの未提出が一回でもあった場合は履修の意思がないものとみなす。
 ・実験によってはグループ分けがなされ、さらに集合時間が異なる場合があるので注意すること。
 ・実験により教室が異なるので気をつけること。
 ・個人情報の管理には十分注意すること。

【学習の準備】

次のようなことを身につけるつもりで受講すること：理論・モデルから仮説の導き方、仮説を検証するための実験デザイン、実験を行う際の技術的および倫理的問題に対する意識、実験の目的に応じたデータの適切な解析法、結果の整理の仕方、結果に基づいた考察の進め方、および実験レポートの書き方、など。

【レポート】

課題ごとにレポートが課されるため、それらに対して自分の力で真剣に取り組み、期限厳守で提出すること。レポートを書く際には毎回、これまでに習った、レポートを書く際の取り決め、フォーマットについて復習し、それに従ってレポートを書くこと。レポートの書き直しが課された場合には、レポートの書き方について改めて復習し、それに従って書き直して期限までに提出すること。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

心の問題を評価し援助する基礎的技能を修得する。